

こまえ子育て応援プラン
狛江市子ども・子育て支援事業計画 子ども・若者編
(狛江市子ども・若者計画)
進捗状況報告書
(平成 29・30 年度実施事業)

令和元年 10 月

はじめに

狛江市では、平成 30 年 3 月に子ども・子育て分野のマスタープランである「こまえ子育て応援プラン」の追補版～子ども・若者編～として、「狛江市子ども・若者計画」を策定し、子ども・若者育成支援施策を総合的かつ計画的に取り組んでいるところです。

この計画を着実に遂行し、事業を実施していくため、「こまえ子育て応援プラン」同様に、狛江市子ども・子育て会議において進捗管理を行うとともに、狛江市子ども・子育て支援事業計画庁内委員会及び狛江市子ども・子育て支援事業計画推進本部の中で共有し、全庁的に取り組みを進めてまいりました。

この度、平成 29 年度から平成 30 年度の実施事業をもとに、施策について実績と評価を取りまとめました。この評価結果をもとに、狛江市の全ての子ども・若者が健やかに成長し、円滑に社会生活を営むことができる社会の形成を目指すとともに、次期計画の改定作業に活用してまいります。

目 次

1	施策の体系	-----	1
2	評価の方法等と決定のプロセス	-----	5
3	本計画の進捗状況	-----	7

1 施策の体系

基本目標1 子ども・若者の健全育成と社会的自立に向けた支援をします

主要課題	施策の方向	事業No.	事業名	担当課	
1 社会的自立に向けた社会形成と社会参加のできる力を育む	① 異世代間交流と地域交流の推進	継続 35	児童館・児童センターの充実	児童青少年課	
		継続 57	世代間・異年齢交流の促進	児童青少年課 地域活性課 社会教育課 公民館 関係各課	
		157	ボランティア活動の参加促進	政策室 児童青少年課 関係各課	
	② 社会参加機会の創出	継続 58	総合的な青少年育成施策の推進	社会教育課 児童青少年課	
		継続 60	青少年の主体的な活動の支援	児童青少年課	
		継続 71	児童館の運営への子どもの参画	児童青少年課	
		158	中学校職場体験の受け入れの実施	指導室	
		159	NPO法人等との連携	児童青少年課 地域活性課	
	2 学びの機会を確保する	① 多様な学習場所の提供	継続 80	学習支援事業の推進	福祉相談課 社会教育課
			160	新規児童館の運用検討	児童青少年課
161			フリースクールへの支援・連携	児童青少年課 指導室	
② 多様な学習機会の提供		再掲 80	学習支援事業の推進	福祉相談課 社会教育課	
		再掲 161	フリースクールへの支援・連携	児童青少年課 指導室	
		162	公共施設の利用拡大	地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館 図書館	

基本目標2 社会的に困難な問題を有する子ども・若者やその家族への支援をします

主要課題	施策の方向	事業No.	事業名	担当課
1 青少年が抱える悩みや問題に対する相談体制の充実を図り、支援体制を確立する	① 相談機関の情報共有と連携	継続 77	児童健全育成相談事業の実施	児童青少年課
		163	関係各課による市内プロジェクトチーム（PT）の発足	政策室 児童青少年課 関係各課
		164	相談窓口の明確化	児童青少年課 関係各課
		165	こまYELLとの情報共有と連携	福祉相談課 児童青少年課
		166	子ども・若者支援地域協議会の調査及び検討	児童青少年課 関係各課
	② 東京都及び近隣の関係機関との連携	継続 39	児童関連施設の連携強化	公民館 子育て支援課 児童青少年課 図書館 関係各課
		167	東京都ひきこもりサポートネット事業との連携	児童青少年課
		168	市内及び近隣の関係機関に対する情報提供及び連携	児童青少年課
	③ 居場所の創出	継続 49	「居場所と遊びのニーズ」の把握・対応充実	児童青少年課 子育て支援課 社会教育課
		継続 52	児童館・児童センターの活用	児童青少年課
		再掲 161	フリースクールへの支援・連携	児童青少年課 指導室
		169	学童クラブ等による居場所の提供	児童青少年課
		170	公共施設による居場所の提供	地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館 図書館
		171	プレーパークの活用	児童青少年課
		172	民間施設による居場所の活用	児童青少年課 関係各課

主要課題	施策の方向	事業No.	事業名	担当課
2 困難を有する子ども・若者の立ち直りを支える地域の連携を進める	① 地域で支える関係の構築	173	保護司事業の拡充	児童青少年課
		174	社会を明るくする運動の充実	児童青少年課
		175	包括的な切れ目のない相談支援体制の整備	地域福祉課
	② 青少年に対する地域活動の参加機会の提供	再掲 159	NPO 法人等との連携	児童青少年課 地域活性課
		176	社会参加活動の充実	児童青少年課
	③ 貧困対策の推進	再掲 80	学習支援事業の推進	福祉相談課 社会教育課
		継続 155	就学援助費の支給	学校教育課
		継続 156	奨学資金の支給	学校教育課
		177	子ども食堂への支援	子育て支援課
		178	フードバンクとの連携	福祉相談課

基本目標3 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境を整備します

主要課題	施策の方向	事業No.	事業名	担当課
1 子ども・若者を取り巻く社会環境の健全化を推進する	① SNS等の適正利用に関する活動の推進	179	保護者・地域に向けた健全育成講座の実施	児童青少年課
	② 環境浄化活動の推進	継続 64	パトロール活動等の推進	児童青少年課 学校教育課 指導室
		継続 65	有害環境の浄化	児童青少年課 指導室 健康推進課
	③ 子ども・若者を取り巻く現状の理解と課題解決に向けた支援の検討	再掲 167	東京都ひきこもりサポートネット事業との連携	児童青少年課
		180	ひきこもり等支援講習会の実施	児童青少年課
		181	子ども・若者を取り巻く現状と課題の把握	児童青少年課 関係各課
2 家庭・学校・地域と一体となった養育力・教育力の向上を目指す	① 家庭・学校における相談・支援体制の構築	継続 32	相談支援体制の強化	指導室 子育て支援課 福祉相談課
		継続 73	相談・カウンセリング事業の推進	指導室 子育て支援課
		継続 74	スクールソーシャルワーカーの活動推進	子育て支援課 指導室
		継続 76	不登校対策事業の推進	児童青少年課 指導室
		継続 78	ゆうあいフレンド事業の推進	指導室
	② 地域が主体となった支援の充実	継続 46	民生児童委員による家庭訪問の充実	地域福祉課 健康推進課
3 子ども・若者の育成環境の充実を図る	① 地域社会資源の活用	182	学校ボランティアの活用	社会教育課
		183	狛江市市民活動支援センターの活用	政策室
	② 居場所及び多様な活動の場の提供	再掲 169	学童クラブ等による居場所の提供	児童青少年課
		再掲 170	公共施設による居場所の提供	地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館 図書館
		再掲 171	プレーパークの活用	児童青少年課
		184	市・地域活動団体の事業による体験事業の拡充	政策室 地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館
	③ 就労支援事業の充実	継続 95	就労支援情報の提供の促進	地域活性課
		185	就労支援の充実	地域活性課 福祉相談課
		186	地域若者サポートステーションとの連携	児童青少年課

2 評価の方法等と決定のプロセス

◆評価の方法と決定までのプロセス

この報告書では、子ども子育て応援プラン 子ども若者編（狛江市子ども・若者計画）の事業のうち、子ども子育て応援プランから引き継いだ事業を除いた事業について評価しています。

評価は事業ごとに行うこととし、事業ごとに掲げた目標に対して、実績がどの程度達成されているのかを評価しました。

また、個々の事業の進捗状況の確認と評価は各事業担当課において行い、狛江市子ども・子育て支援事業計画庁内委員会（以下、「庁内委員会」という）にて報告書（素案）を検討しました。その後、狛江市子ども・子育て会議において意見をいただいた上で、最終的に狛江市子ども・子育て支援事業計画推進本部（以下、「推進本部」という）を経て、決定しました。

令和元年6月 事業担当課にて進捗状況の確認、評価

令和元年9月 庁内委員会にて進捗状況報告書（素案）の検討、意見聴取

令和元年10月 推進本部にて進捗状況報告書の検討、決定

◆評価基準

評価基準	評価内容
A	達成 達成できた
B	達成に近い かなり進み、達成に近い
C	未達成に近い あまり進まず、未達成に近い
D	未達成

◆評価結果

平成 29 年度及び平成 30 年度の事業実績に基づき、評価した結果、以下のとおりとなりました。

全体的にA評価・B評価となっている事業が多く、各事業において、掲げた目標に対する進捗が見られます。しかし、一部ではありますが、C評価の事業が見られますので、今後も引き続き、狛江市子ども・子育て支援事業計画庁内委員会等を通して、取組み状況を確認しながら、最終年度の結果を踏まえ、次期計画へ反映していきます。

評価	事業数
A	23
B	12
C	1
D	0
計	36

◆表の見方

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
157	ボランティア活 動の参加促進	児童館・児童センタ ー、狛江市立保育園、 狛江市市民活動支援 センター等でボラン ティアの受入れ等を 行い、異世代間交流と 地域交流の場の提供 を行っています。	市民活動支援センターにて、ボランティアを始めるきっかけづくりとして、小学4年生以上を対象としてボランティア活動を体験できる「夏！体験ボランティア」を実施し、多くの若者が参加した。 【29年度実績】 受入団体40団体 プログラム数52 参加者数81名（うち小学生～大学生55名） 【30年度実績】 「夏！体験ボランティア2018」を実施 受入団体44団体 プログラム数51 参加者数56名 【29年度実績】 岩戸児童センターでは、「えんにち」で小学校高学年以上のボラ ンティアを募り、和泉児童館ではハロウィンイベントで中学生2名 のボランティアが参加した。 【30年度実績】 岩戸児童センターでは、「えんにち」で小学校高学年以上のボラ ンティアを募り、和泉児童館では、日常的に、高校生2名が小学生 の遊び相手やイベントで必要な制作物の作成の手伝い等、大学生1 名が小中高生の遊び相手や事務の補助等を行う事業や、「えんにち ごっこ」において、中学生ボランティアを募り、事前準備で高校生 2名・中学生5名、当日の運営に高校生1名・中学生2名、当日の運 営手伝いで小学生1名が参加した。また、「ハロウィン」において、 保護者が中心となり、児童館から西河原公園までの引率を行った。	様々な関係機関を利用して、 若者の得意なこと、興味がある ことを生かしながら、ボランテ ィア受け入れ側とのマッチング を進め、社会的自立の第一歩と なるための活動に努めます。	政策室 児童青少年課 関係各課

事業の担当課

計画策定時の事業名・事業内容と
現状の取組みを記載

平成 29 年度及び平成 30 年度事業実績
※担当課ごとに行を挿入しています

最終年度までの目標を
記載

評価

3 本計画の進捗状況

※事業No.4欄の継続事業については、こまえ子育て応援プランの事業を引き継ぐものとし、新規事業のみ掲載しています。

基本目標1 子ども・若者の健全育成と社会的自立に向けた支援をします

主要課題1 社会的自立に向けた社会形成と社会参加のできる力を育む

施策の方向 ①異世代間交流と地域交流の推進

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
157	ボランティア活動の参加促進	児童館・児童センター、狛江市立保育園、狛江市市民活動支援センター等でボランティアの受入れ等を行い、異世代間交流と地域交流の場の提供を行います。	市民活動支援センターにて、ボランティアを始めるきっかけづくりとして、小学4年生以上を対象としてボランティア活動を体験できる「夏！体験ボランティア」を実施し、多くの若者が参加した。 【29年度実績】 受入団体40団体 プログラム数52 参加者数81名（うち小学生～大学生55名） 【30年度実績】 「夏！体験ボランティア2018」を実施 受入団体44団体 プログラム数51 参加者数56名 【29年度実績】 岩戸児童センターでは、「えんにち」で小学校高学年以上のボランティアを募り、和泉児童館ではハロウィンイベントで中学生2名のボランティアが参加した。 【30年度実績】 岩戸児童センターでは、「えんにち」で小学校高学年以上のボランティアを募り、和泉児童館では、日常的に、高校生2名が小学生の遊び相手やイベントで必要な制作物の作成の手伝い等、大学生1名が小中高生の遊び相手や事務の補助等を行う事業や、「えんにちごっこ」において、中学生ボランティアを募り、事前準備で高校生2名・中学生5名、当日の運営に高校生1名・中学生2名、当日の運営手伝いで小学生1名が参加した。また、「ハロウィン」において、保護者が中心となり、児童館から西河原公園までの引率を行った。	様々な関係機関を利用して、若者の得意なこと、興味があることを生かしながら、ボランティア受け入れ側とのマッチングを進め、社会的自立の第一歩となるための活動に努めます。	政策室 児童青少年課 関係各課

施策の方向 ②社会参加機会の創出

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
158	中学校職場体験の受け入れの実施	特色ある教育活動の一環として、市内各事業所等の協力のもと、中学校全4校で職場体験を実施し、職業観・勤労観を育てる機会としています。	市内各事業所等の協力のもと、中学校全4校生徒の職場体験を実施し、職業観・勤労観を育てる機会とすることができた。 地域の商店、企業をはじめ、公共施設、介護施設、保育園、学校等、幅広い分野での体験を実施することができ、キャリア教育の一端を担う活動となった。 また、中学生は、働くことの意義を知り、働くことの大変さや素晴らしさを感じるとともに、仕事が人々の生活にどのような役割を担っているのかを考えることができた。 【29年度実績】 市内延べ142か所の事業所の協力のもと、職場体験を実施した。 【30年度実績】 市内の延べ144か所の事業所の協力のもと、職場体験を実施した。また体験場所として新たに10の事業所からの協力を得ることができた。	キャリア教育のひとつとして、職場体験を実施し、中学生に様々な職場体験を通して、望ましい社会性や勤労観、職業観を身に付けるとともに、自己の将来について考えるきっかけとして、働くことの意義や目的を見出す力を養う教育活動を進めていきます。	指導室 A
159	NPO法人等との連携	子ども・若者の社会参加機会の創出として、近隣や地域にある施設、団体等と連携し柔軟に事業を展開していきます。	各地域センターで子ども一日図書館員を実施した。 【29年度実績】 参加者数9名 【30年度実績】 参加者数10名 プレーパークでは、イベント時にボランティアを募り、一置マーケットでは多くの児童や若者が運営に参加した。 【29年度実績】 中高生や若者の運営ボランティア参加者数10名 【30年度実績】 一置マーケットにおいて、出店参加者数34名、来客数87名 公民館では、リリースクールKOPPIEの利用者をいべんと西河原の設営準備に協力いただくなど、市民団体と連携をして事業を運営している。	NPO法人や市民団体などの地域にある社会資源と連携し、子ども・若者の社会参加のきっかけを創るイベントの開催など、効果的な施策・事業の展開に努めます。	児童青少年課 地域活性課 (公民館) B

※事業No.159は計画策定時の担当課に加え、関連する事業を実施した所管課を（）内に記載

主要課題2 学びの機会を確保する

施策の方向 ①多様な学習場所の提供

事業 No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
160	新規児童館の運用検討	中高生が自由に勉強できるスペースを児童館へ設置可能か検討します。	平成29年度は、(仮称)北部児童館の児童館の利用者や、中学生の意見を反映した基本設計を経て、実施設計を行い、子どもたちが自由に勉強できるスペースを設置できるよう、検討した。 平成30年度には、新設工事を行い、中高生が自由に勉強できる中高生室を設置した。	児童館のない北部地域に新設される児童館に自由に勉強できるスペースを設置し、運用を開始します。	児童少年課 A
161	フリースクールへの支援・連携	不登校児童・生徒やひきこもりの子どもたちをサポートする学校教育の枠にとらわれない学びの場・居場所として活動しています。	市内の学びの場・居場所として活用されているフリースクールへ補助金を交付した。 平成30年度には、補助金を交付するほか、狛江市若者支援ガイドに市内のフリースクールを掲載し、学びの場・居場所を紹介した。 平成29年度は、不登校・教育相談対策委員会や問題行動等対策連絡協議会にフリースクール代表の方に参加いただき、フリースクールの活動状況や児童・生徒に関する情報を共有した。また、フリースクールにおける宿泊学習への支援等を行った。 平成30年度には、国のいじめ対策・不登校支援等推進事業を受託し、フリースクール等学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究を拡充した。「公益財団法人 こども教育支援財団との連携協定」により、不登校児童生徒の支援を含め、子どもの教育活動や教育相談に関する事項等、様々な連携・協力を推進した。	より良い支援の充実を図るため、更なる支援・連携の可能性を検討し、取組を拡げます。	児童少年課 指導室 A

施策の方向 ②多様な学習機会の提供

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
162	公共施設の利用 拡大	公共施設における様々な学習、体験事業等を通して、身近な学習機会を提供できるように進めています。	<p>各地域センターでは、子ども向け事業を実施しており、親子で楽しむおはなし会や子どもクリスマス会、親子料理教室等、様々な事業を展開した。</p> <p>【平成29年度実績】 事業数14 【平成30年度実績】 事業数18</p> <p>児童センター及び児童館にて、自主イベントとして、子どもの学びの機会の提供を行った。</p> <p>平成29年度は、元和泉市民運動ひろばをボールの使用できるひろばとして整備し、平成30年度に開放した。</p> <p>公民館では、中央、西河原両館において少年事業を実施しており、小学校低学年を対象とした子どもの広場、高学年を対象とした野外サークル、夏休み期間を利用し、小中学生を対象とした子ども体験教室等を実施した。</p> <p>【平成29年度実績】 事業数5、延べ参加者数788名 【平成30年度実績】 事業数6、延べ参加者数501名</p> <p>また、平成30年度には「子どもの居場所事業」として、子ども食堂と連携した事業で食事を提供する事業や学習支援の一環として、公民館を学習スペースとして提供した。</p> <p>【平成30年度実績】 子どもの居場所事業（子ども食堂）延べ参加者数243名 子どもの居場所事業（学習支援）延べ参加者数28名</p> <p>図書館では、子ども読書活動推進事業として、子どもの読書週間・夏休み等の期間に合わせて、様々なイベントを実施した。</p> <p>【平成29年度実績】 子どもおはなし会、親子で楽しむおはなし会、土曜日おはなし会（101回、参加者数1,712名）、科学あそび（参加者数10名）、子</p>	市内の公共施設が安心かつ誰もが利用しやすい施設となるように努めます。	地域活性化課 児童青少年課 社会教育課 公民館 図書館
					A

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
			<p>子ども図書館員（参加者数10名）、特別おはなし会（3回、参加者数151名）、児童行事実技講座（4回、参加者数140名） 【平成30年度実績】</p> <p>子どもおはなし会、親子で楽しむおはなし会、土曜日おはなし会（99回、参加者数2,175名）、科学あそび（参加者数16名）、子ども図書館員（参加者数20名）、特別おはなし会（3回、参加者数149名）、児童行事実技講座（5回、参加者数81名）</p>		

基本目標2 社会的に困難な問題を有する子ども・若者やその家族への支援をします

主要課題1 青少年が抱える悩みや問題に対する相談体制の充実を図り、支援体制を確立する

施策の方向 ①相談機関の情報共有と連携

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
163	関係各課による市内プロジェクトチーム（PT）の発足	ひきこもり等の様々な課題を抱えた若者に対する支援の情報共有と連携を図るため、関係各課でプロジェクトチームを発足し、様々な課題を抱えた若者とその家族に適切な支援につなげます。	平成29年度にひきこもり等の様々な課題を抱えた若者に対する支援の情報提供及び連携を図るため、市内の関係各課によるプロジェクトチームを発足した。平成30年度には、市内プロジェクトチームで検討した狛江市若者支援ガイドを作成し、市役所で行っている相談をカテゴリーごとに掲載し、若者に対する情報提供を図ることができた。	関係各課と情報共有及び連携を図り、様々な課題を抱えた若者とその家族に対する支援体制の充実を図ります。	政策室 児童青少年課 関係各課
164	相談窓口の明確化	様々な困難、悩みを抱えた若者に対する支援窓口を明確化し、迅速かつ適切な支援の提供を図るため、市民への情報発信を行います。	平成29年度に若者に係る市内の関係各課によるプロジェクトチームにて、狛江市若者支援ガイド（案）を検討し、平成30年度に狛江市若者支援ガイドを作成した。様々な困難や悩みを抱えた若者に対する相談窓口や支援機関を掲載し、イベント等で配布した。	様々な課題を抱えた若者とその家族に対する支援窓口をまとめた（仮）若者支援マップを作成し、市民へわかりやすく情報発信します。	A 児童青少年課 関係各課
165	こまYELLとの情報共有と連携	平成27年に生活困窮者相談窓口として開設し、生活困窮者への様々な支援を行っています。	狛江市若者支援ガイドを作成するにあたり、こまYELLの所管課である福祉相談課と情報共有を行った。また、こまYELLを相談機関として、狛江市若者支援ガイドに掲載して、より多くの方に周知できるように連携した。 こまYELLでは、平成29年度に子どもたちの学習支援事業の利用者のうち、学習クラブを利用している子どもについて情報共有し、支援を行い、平成30年度には社会福祉協議会が共催したひきこもり等に関する意見交換及び家族懇談会に参加し、情報収集を行い、支援が必要な方に情報提供を行った。	関係機関と情報共有及び連携を図り、様々な課題を抱えた若者とその家族に対する支援体制の充実を図ります。	福祉相談課 児童青少年課
166	子ども・若者支援地域協議会の調査及び検討	困難や悩みを有する子ども・若者に対する支援を効果的かつ円滑な実施を図るための協議会の調査及び検討を進めるものです。	課題を抱える子ども・若者に対する支援を実施するための協議会について、近隣の状況把握を行ったが、協議会設置についての調査・研究には至っていない。	現状を把握するための調査を実施し、子ども・若者支援地域協議会について検討します。	児童青少年課 関係各課
					C

施策の方向 ②東京都及び近隣の関係機関との連携

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
167	東京都ひきこもりサポートネット事業との連携	東京都の実施している「ひきこもりサポートネット」の一時受付を行い、訪問相談等の支援につなげています。	平成29年度に「ひきこもりサポートネット」の訪問相談の一時受付窓口として、チラシ及びパンフレットにて広く周知した。 平成30年度には、「ひきこもりサポートネット」の訪問相談の一時受付窓口として、チラシ及びパンフレットで広く周知するとともに、相談者をつなげることができた。引き続き、より多くの方に周知するため、 「ひきこもりサポートネット」の周知方法などを検討していく。	「ひきこもりサポートネット」の一時受付を行いながら、周知方法について検討し、利用しやすい体制作りを進めます。 また、支援を必要とする方に確実に支援がつかえるように連携を図り、ひきこもり等の自立支援事業に取り組みます。	児童青少年課 B
168	市内及び近隣の関係機関に対する情報提供及び連携	市内及び近隣の関係機関との情報共有及び連携を通して、必要とされている支援を確実につなげていけるよう努めるものです。	若者に係る庁内のプロジェクトチームにて、市内及び近隣の相談機関または支援機関の調査を行い、課題を抱える子ども・若者が必要としている支援につなげられるように検討した。また、近隣のNPO法人と連携し、若者自立支援講習会を実施することができた。講習会後に希望者を対象に個別相談を実施し、適切な支援へつなげることができた。 【平成29年度実績】 「わが子の将来、ちょっと不安!？」参加者数14名 【平成30年度実績】 「お子さんと話、できてますか!？」参加者数14名	様々な課題を抱えた若者について状況把握や適切な支援が行われるよう努めます。	児童青少年課 A

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
170	公共施設による居場所の提供	公民館、図書館、地域センター、地区センター、体育施設、学校施設等の公共施設を地域に開放し、身近な居場所となるように進めています。	野川地域センター、岩戸地域センター、南部地域センターにはフリースペースを設置し、ルールを守って子どもから大人まで活用している。 児童センター及び児童館では、利用者アンケートを行い、より良い居場所となるように努めるとともに、平成30年度には北部地域に市内3館目となる北部児童館の新築工事を実施した。 学校開放の一環として、夏季に10日間狛江第二中学校のプールを一般開放し、体育施設の個人開放を実施した。平成30年度には元和泉市民運動ひろばを新たに開設し、平日の14時以降と休日は終日開放した。 公民館では、中央、西河原の両館においてリースペースを設置し、靴を脱いでくつろげるリースペースや学習スペースを館内に確保して、子どもたちが集う身近な居場所として利用ができるように環境整備を行った。 図書館では、平成29年度にリニューアルしたYA Booksコーナーは、隣接の書架にジュニア新書や新聞・雑誌も集めるなどしてさらに利用を促進しています。また、新たな取組として、小学5年生から中学生を対象に「YA!週末図書館クラブ」を開始した。	市内の公共施設が、安心かつ誰もが利用しやすい居場所となるような整備と運用に努めます。	地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館 図書館
171	プレーパークの活用	子どもたちの発達段階に応じた遊び、活動を通して、感性や生きる力を育むために、子どもたちが自由な発想で遊べる場や機会を提供しています。	プレーパーク年間利用者数が、10,000名を超える実績となり、子どもたちを中心とした市民の居場所としても定着してきた。 また、平成30年度には新しい取組として、お試し出張プレーパークを和泉小学校放課後クラブで2回実施し、プレーパークの周知を行った。	こまねプレーパークにおける子どもが自由に活動できる事業を促進・支援します。	児童青少年課
172	民間施設による居場所の活用	若者の居心地の良い居場所や、活動拠点として、様々な活動を行っています。	若者に係る庁内の関係各課によるプロジェクトチームにて、狛江市若者支援ガイドを作成し、その中に市内外の若者のための居場所の紹介を加えた。 また、平成30年度には児童クラブの待機児対策として、待機児対策推進本部にて今後の整備方針として民間施設等も含めた施設を子ども・若者に対する居場所として活用できるか検討を行い、今後の整備方針として待機児対策検討報告書を策定した。	民間施設による居場所を活用して、より良い居場所創設事業の充実を図ります。	児童青少年課 関係各課

主要課題2 困難を有する子ども・若者の立ち直りを支える地域の連携を進める

施策の方向 ①地域で支える関係の構築

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
173	保護司事業の拡充	対象者との面接、市役所での相談窓口の開設、協力雇用主制度の普及・啓発等を行っています。	更生保護相談の窓口を毎月1回開設し、広報で周知した。また、協力雇用主制度の普及・啓発として広報誌に掲載した。	法務省、保護観察所及び東京都等の関係機関と連携し、保護司事業の拡充、支援を進めます。	児童青少年課 B
174	社会を明るくする運動の充実	犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動で、関係団体の協力のもと、普及啓発に向けた事業を行っています。	社会を明るくする運動の事業の一環として、駅頭広報活動や狛江市推進大会とコンサートをを行った。駅頭広報活動では、1,000部の広報物品を配布し、狛江市推進大会とコンサートでは、多くの来場者があった。 【平成29年度実績】 “社会を明るくする運動” 狛江市推進大会とコンサート来場者数 972名 【平成30年度実績】 “社会を明るくする運動” 狛江市推進大会とコンサート来場者数 988名	“社会を明るくする運動” 駅頭広報活動や狛江市推進大会とコンサートをより多くの方に広め、理解を深めるよう努めます。	児童青少年課 B
175	包括的な切れ目のない相談支援体制の整備	高齢、障がい、児童等の分野ごとの相談体制では対応困難な複合的な課題等に対応できる包括的な切れ目のない相談支援体制の整備に向け検討するものです。	平成29年度に第7期介護保険事業計画における実施に向けて、コミュニティソーシャルワーカー（地域福祉コーディネーター）（以下「CSW」）等を配置している先進自治体への視察等を行うとともに、配置を行う予定である社会福祉協議会との調整を行った。 平成30年度には狛江市社会福祉協議会にCSWを市内3地区（あいとびあエリア、こまえ苑エリア、こまえ正吉苑エリア）中1地区（あいとびあエリア）に1名配置し（他の2地区については令和2年度、令和4年度に配置予定）、上半期は担当エリア全戸にチラシのポストイン配布枚数12,027枚）。また、個別支援の相談実数は63名で、その対応回数は257回、地域支援の相談実数は17件で、その対応回数は121回だった。 平成31年度から市及び狛江市社会福祉協議会に相談支援包括化推進員が配置され、相談者等が抱える課題の把握、相談支援機関等との連絡調整その他相談者等の自立を支援する上で必要な支援が実施されるよう調整を行った。	コミュニティ・ソーシャルワーカー（地域福祉コーディネーター）を配置し、地域が主体的に地域課題を把握して解決できる体制づくりのために地域と関係機関が連携して支援をしていきます。 また、（仮称）相談支援包括化推進員を配置し、包括的相談体制整備に向けた研修・広報活動を実施していきます。	地域福祉課 （福祉相談課） （高齢障がい課） A

※事業No.175は、担当課のほか、切れ目のない相談支援体制を構築するために、福祉相談課及び高齢障がい課が関わることもあるため、○内に記載

施策の方向 ②青少年に対する地域活動の参加機会の提供

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
再掲 159	NPO法人等との連携	子ども・若者の社会参加機会の創出として、近隣や地域にある施設、団体等と連携し柔軟に事業を展開していきます。	各地域センターで子ども一日図書館員を実施した。 【29年度実績】 参加者数9名 【30年度実績】 参加者数10名 プレーパークでは、イベント時にボランティアを募り、一置マーケットでは多くの児童や若者が運営に参加した。 【29年度実績】 中高生や若者の運営ボランティア参加者数10名 【30年度実績】 一置マーケットにおいて、出店参加者数34名、来客数87名 公民館では、フリースクールKOPPIEの利用者をいべんと西河原の設備準備に協力いただくなど、市民団体と連携をして事業を運営している。 保護司の自主事業である社会参加活動を年2回実施した。	NPO法人や市民団体などのある地域にある社会資源と連携し、子ども・若者の社会参加のきっかけを創るイベントの開催など、効果的な施策・事業の展開に努めます。	児童青少年課 地域活性課 (公民館)
176	社会参加活動の充実	保護司会と連携し、神代農場、深大寺等の社会参加活動を年2回実施しています。		法務省、保護観察所及び保護司会、調布市等の関係機関と連携し、清掃等の奉仕活動を継続して行います。	児童青少年課 B

※事業No.159は計画策定時の担当課に加え、関連する事業を実施した所管課を（ ）内に記載

施策の方向 ③貧困対策の推進

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
177	子ども食堂への支援	孤食や経済的理由等で満足な食事を摂れない子どもにも食事を提供する取組みで、定期的に子ども食堂を開催し、学習会等の事業も実施しています。	平成29年度に市内の子ども食堂が主催するイベントへの後援を行い、子ども食堂事業補助金の交付に向けた要綱を作成した。 平成30年度には、子ども食堂事業補助金を3団体に交付し、経済的支援を行った。 そのほか、内2団体と共催し、公共施設（公民館）を会場として提供した。 平成30年度には公民館も「子どもの居場所事業」として、子ども食堂と連携した事業で食事を提供する事業を実施した。 【平成30年度実績】 子どもの居場所事業（子ども食堂）延べ参加者数243名	市内の子ども食堂について、現状の把握に努め、支援の方法等について検討していきます。	子育て支援課 （公民館） A
178	フードバンクとの連携	平成29年度にNPO法人フードバンク狛江と協定を結び、緊急的に食料を必要とした方への支援を行っていました。	フードバンクを利用して食糧支援や就労につなげることができた。 【平成29年度実績】 130名近い方々に延べ600回近い支援を行った。 【平成30年度実績】 NPO法人フードバンク狛江と連携し、子どもがいる世帯を含めた88名の方に対し延べ682回の食糧支援を実施した。 平成30年度から、子育て支援課とフードバンク狛江が連携して、夏休みなどの長期休業中にひとり親世帯を対象に、食糧支援を行った。 【平成30年度実績】 世帯数延べ94世帯、総利用人数延べ258名の方に食糧支援を行った。	団体との連携調整を図りながら、生活困窮者に対する食料支援を行います。	福祉相談課 （子育て支援課） A

※事業No.177及び178は計画策定時の担当課に加え、関連する事業を実施した所管課を（ ）内に記載

基本目標3 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境を整備します

主要課題1 子ども・若者を取り巻く社会環境の健全化を推進する

施策の方向 ① SNS等の適正利用に関する活動の推進

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
179	保護者・地域に向けた健全育成講座の実施	「狛江市青少年問題協議会」と連携して定期的にSNS等の適正な利用方法等についての健全育成講座を実施しています。	平成29年度に狛江市青少年問題協議会と連携して健全育成講座（隔年実施）「青少年のネットトラブルを未然に防ごう！～子どもたちへの啓発のしかた～」を実施し、29名の参加があった。	定期的に子ども・若者を取り巻く社会環境の健全化に向けた健全育成講座を実施します。	児童青少年課 B

施策の方向 ③子ども・若者を取り巻く現状の理解と課題解決に向けた支援の検討

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
再掲 167	東京都ひきこもりサポートネットワーク事業との連携	東京都の実施している「ひきこもりサポートネットワーク」の一時受付を行い、訪問相談等の支援につなげています。	平成29年度に「ひきこもりサポートネットワーク」の訪問相談の一時受付窓口として、チラシ及びパンフレットにて広く周知した。 平成30年度には、「ひきこもりサポートネットワーク」の訪問相談の一時受付窓口として、チラシ及びパンフレットで広く周知するとともに、相談者をつなげることができた。引き続き、より多くの方に周知するために、「ひきこもりサポートネットワーク」の周知方法などを検討していく。	「ひきこもりサポートネットワーク」の一時受付を行いながら、周知方法を検討し、利用しやすい体制制作を進めます。 また、支援を必要とする方に確実に支援がたつようになるように連携を図り、ひきこもり等の自立支援事業に取り組みます。	児童青少年課
180	ひきこもり等支援講習会の実施	ひきこもり等の課題を抱える本人、その家族、周りの関わっている方に向けて講習会等を実施し、課題を抱える若者の把握と必要に応じた支援の検討、紹介につなげるものです。	ひきこもり等の課題を抱えるこども・若者本人とその家族や関係者を対象に、若者自立支援講演会を実施し、講演会終了後には希望者を対象に個別相談会を実施し、適切な支援機関につなげることができた。 【平成29年度実績】 「わが子の将来、ちょっと不安!？」参加者数14名 【平成30年度実績】 「お子さんと話、できてますか!？」参加者数14名	講習会等の事業を実施し、ひきこもり等の課題を抱える若者の把握と適切な支援内容を検討し、情報提供します。	児童青少年課
181	子ども・若者を取り巻く現状と課題の把握	子ども・若者を取り巻く環境の変化や直面している課題等を把握するものです。	平成30年度に満18歳から39歳までの若者を対象に狛江市若者生活実態調査を実施し、263票回収した。調査結果から若者の現状や課題を分析することができた。	子どもと若者を取り巻く現状と課題を把握するため、アンケート等の調査の実施や関係機関からの情報収集に努めます。	児童青少年課 関係各課
					A

主要課題3 子ども・若者の育成環境の充実を図る

施策の方向 ①地域社会資源の活用

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
182	学校ボランティア の活用	平成28年度に狛江市学校支援地域本部を設置し、学校支援ボランティア事業を立ち上げました。狛江市立狛江第五小学校をモデル学校区として事業を行っています。	学校コーディネーターを1名委嘱し、学校の要請に基づいてクラスサポーター、学習支援や飼育動物の世話など、学校とボランティアとの連絡調整等を行うことで、地域の人材と学校を結びつける取組を進めました。	学校支援ボランティア事業の内容及び方法等の検討を行い、運用しやすい体制づくりを支援していきます。	社会教育課
183	狛江市市民活動支援センターの活用	平成28年度に開設した狛江市市民活動支援センターで、活動の相談、マッチング、協力員及び協力団体の募集を行っています。	市民公益活動を支援するための相談やマッチング、平成29年度には市民交流事業として「食堂・居場所の連絡会」を開催し、平成30年度には小中学校等への体験学習の協力を行うなど、子ども・若者の育成環境の充実に向けて、市民ボランティアや市民活動団体の各種支援を行った。	狛江市市民活動支援センターが軸となって、子育てや子ども学習・遊びの支援について、市民ボランティアや市民活動団体が活発に活動できるよう、推進していきます。	政策室 B

施策の方向 ②居場所及び多様な活動の場の提供

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
再掲 169	学童クラブ等による居場所の提供	小学生の放課後の居場所として放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室事業を行っています。	平成30年度に学童クラブの待機児対策として、待機児対策推進本部にて検討を行い、今後の整備方針として待機児対策検討報告書を策定した。 放課後の居場所の一つとなるべく、北部児童館(愛称：こまっこ児童館)、第五小学校放課後クラブを新設し、岩戸児童センターの改修工事を実施し、学童クラブの定員拡充を図った。第一小学校放課後クラブの拡充についての検討を進めた。 また、放課後子ども教室事業運営委員会を年3回開催し、より良い居場所となるよう検討を行った。	学童クラブの施設整備を進め、受け入れ人数の拡大を図ります。 また、放課後子ども教室運営委員会と連携してより良い居場所となるよう進めていきます。	児童青少年課 A
再掲 170	公共施設による居場所の提供	公民館、図書館、地域センター、地区センター、体育施設、学校施設等の公共施設を地域に開放し、身近な居場所となるよう進めていきます。	野川地域センター、岩戸地域センター、南部地域センターにはフリースペースを設置し、ルールを守って子どもから大人まで活用している。 児童センター及び児童館では、利用者アンケートを行い、より良い居場所となるように努めるとともに、平成30年度には北部地域に市内3館目となる北部児童館の新築工事を実施した。 学校開放の一環として、夏季に10日間泊江第二中学校のプールを一船開放し、体育施設の個人開放を実施した。平成30年度には元和泉市民運動ひろばを新たに開設し、平日の14時以降と休日は終日開放した。 公民館では、中央、西河原の両館においてフリースペースを設置し、靴を脱いでくつろげるフリースペースや学習スペースを館内に確保して、子どもたちが集う身近な居場所として利用ができるように環境整備を行った。 図書館では、平成29年度にリニューアルしたYA Booksコーナーは、隣接の書架にジュニア新書や新聞・雑誌も集めるなどしてさらに利用を促進しています。また、新たな取組として、小学5年生から中学生を対象に「YA!週末図書館クラブ」を開始した。	市内の公共施設が、安心かつ誰もが利用しやすい居場所となるような整備と運用に努めます。	地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館 図書館 A

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
再掲 171	プレーパークの活 用	子どもたちの発達 段階に応じた遊び、 活動を通して、感性 や生きる力を育むた めに、子どもたちが 自由な発想で遊べる 場や機会を提供して います。	プレーパーク年間利用者数が、10,000名を超える実績となり、子どもたちを中心とした市民の居場所としても定着してきた。 また、平成30年度には新しい取組として、お試し出張プレーパークを和泉小学校放課後クラブで2回実施し、プレーパークの周知を行った。	こまえプレーパークにおける子どもが自由に活動できる事業を促進・支援します。	児童福祉課 A

事業 No.	事業名	事業内容と 現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
184	市・地域活動団体の事業による体験事業の拡充	市及び地域活動団体等による体験事業を通して、子ども・若者が多様な活動ができる場所を提供しています。	<p>ふるさと交流キャンプを実施し、ふるさと友好都市である新潟県長岡市川口地域との交流を図った。</p> <p>【平成29年度実績】</p> <p>ふるさと交流キャンプ（2泊3日）</p> <p>狛江市の参加者数20名、川口地域の参加者数5名</p> <p>【平成30年度実績】</p> <p>ふるさと交流キャンプ（1泊2日）</p> <p>狛江市の参加者数20名、川口地域の参加者数7名</p> <p>青少年育成委員会の委託事業として、市内の児童及び生徒を対象にわくわくバスツアーを実施し、自然体験や都内の施設見学を通じて、青少年の健全育成に寄与した。</p> <p>【平成29年度実績】</p> <p>夏休みわくわくバスツアー小菅村DAYキャンプ</p> <p>参加者数64名</p> <p>【平成30年度実績】</p> <p>春休みわくわくバスツアー「東京なるほど再発見」</p> <p>参加者数65名</p> <p>少女スポーツ振興として、スポーツ教室、またスキルアップ教室を実施し、子どもたちが定期的にスポーツを通して活動できる場所を提供した。</p> <p>【平成29年度実績】</p> <p>少女スポーツ教室を9回実施。参加者数延べ1,016名</p> <p>スキルアップ教室（卓球）を実施。参加者数28名</p> <p>【平成30年度実績】</p> <p>少女スポーツ教室を8回実施。参加者数延べ1,049名</p> <p>スキルアップ教室（ラグビー・タグラグビー）を実施。参加者数8名</p> <p>平成29年度は公民館で活動する団体に講師を依頼し、盆景や踊りなどを通じ異なる世代との交流を深め、子どもたちの活動のきっかけづくりの場を提供している。初心者子ども向けに囲碁や将棋などの教室を実施しており、その将棋教室に参加した子どもも、公民館で活動する将棋団体に加入するなど、活動の場を広げることができた。</p> <p>平成30年度には、夏休みを中心に、公民館利用団体の方々を講師として子ども体験学習を行った。また、通年事業の子ども広場の活動にも利用団体の方々に講師として体験学習「盆景」を行った。</p>	子ども・若者の健やかな成長の一助となるよう、青少年の健全育成に関する地域住民や団体などによる青少年育成活動を支援し、多様な活動の場の拡充を図ります。	政策室 地域活性課 児童青少年課 社会教育課 公民館

B

施策の方向 ③就労支援事業の充実

事業No.	事業名	事業内容と現状の取組み	平成29年度及び平成30年度実績	平成31年度までの目標	担当課
185	就労支援の充実	就職を希望する方への就労支援について、その内容や方法などに関する検討を進め、広く周知し適切な支援の確立に努めています。	<p>様々なニーズに対応するため、若年者を対象としたセミナーを開催し、若年者を対象に就職活動支援セミナーを実施した。</p> <p>【平成29年度実績】 参加者数12名</p> <p>【平成30年度実績】 参加者数13名</p> <p>ハローワークその他就労支援団体等を利用し、生活保護受給者及び生活困窮者への就労支援を行った。</p> <p>就労準備支援事業の利用者については、地域の企業での見学、体験、ワークショップ、福祉施設等でのボランティア活動に参加するなど、関係機関と連携して、就労訓練等の機会増加を図るとともに、地域に出る機会の増につながっている。</p>	内容や方法、効果などの面から様々な課題を抱える方への就労支援の充実について取り組んでいきます。	地域活性課 福祉相談課
186	地域若者サポートステーションとの連携	働くことに悩みを抱える若者に対して、相談、訓練、職業体験等を通じて支援を行う地域若者サポートステーションと連携をとり、支援方法の検討と確立に努めるものです。	<p>地域若者サポートステーションのポスターを継続的に庁舎内に掲示を行い、ちようふ若者サポートステーションの事業に関するチラシ等も設置し、広く周知することができた。</p> <p>また、平成29年度はちようふ若者サポートステーションの運営団体である認定NPO法人「育て上げネットに協力を仰ぎ、若者自立支援講演会「わが子の将来、ちょっと不安!?」を実施し、講演会終了後には希望者を対象に個別相談会を実施し、適切な支援機関につなげることができた。</p>	地域若者サポートステーションを広く周知するための広報活動、講演会や出張相談会の実施など、働くことに悩みを抱える若者に対して、必要な支援を提供していきます。	児童福祉課 B

登録番号（刊行物番号）
H31-40

こまえ子育て応援プラン
狛江市子ども・子育て支援事業計画 子ども・若者編
（狛江市子ども・若者計画）
進捗状況報告書
（平成 29・30 年度実施事業）
令和元年 10 月発行

発行 狛江市
編集 狛江市児童青少年部児童青少年課
狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号
電話 03（3430）1111（代表）
頒布価格 30 円

